

研究テーマ	福井県在住の外国人のための医療環境における言語サポートの予備調査
研究期間	平成 21 ~ 22 年度
主たる研究者	【学部・学科】 学術教養センター 【職・氏名】 准教授・ ロレイン サッカ
<p>○研究目的</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 病院における言語の障壁が外国人患者にとってどのような障害となっているか実態把握（インタビューと調査による） 2) ヘルスケアシステムにおける言語障壁の分類化（福井県立大学） 3) 地元の病院（済生会病院）に於いて以下の活動実践を通じ、実態把握と調査 <ol style="list-style-type: none"> a) 来院者への英語通訳ボランティア。専門通訳者常駐のニード調査 b) 外国人来院者に親近感を抱いてもらうよう、英語印刷物による情報提供 c) 病院内スタッフに言語的・文化的障壁についての啓蒙活動 4) 県外における活動実態を把握し、また情報交換するために関連するワークショップに参加 5) 医療通訳関連の視聴覚資料や教材の収集 6) 医療通訳に関心のある人たちを対象としてワークショップの開催（英語・ポルトガル語・中国語） <p>○研究成果</p> <ol style="list-style-type: none"> a) 福井県内在住の外国人（英語話者）40人以上の調査書収集。加えて、10名分のインタビュー結果も収集。 b) 済生会病院における言語障壁実態評価。 c) 県内他の病院については、英語を話せるスタッフを持っているか否かの分類リスト作成。（これについては、現在進行中であり、プロジェクトの続行が認められることで、調査・研究が可能になるので、是非配慮をお願いしたい。） 	

d) 済生会病院における活動実績

ウェブページ作成 (http://www.fukui-saiseikai.com/index_e_top.html)

上記に加えて。

1. 案内文書などの2ヶ国語化 (日本語・英語)
2. 若手医師・看護師を囲み、月例英語昼食会での意見・情報交換
3. 来院患者への医療通訳支援 (毎週金曜日午前8:30～午後3:00pm)

e) 京都多文化センター主催の関連ワークショップ参加。福井モデル構築の探求。

<http://sites.google.com/site/tabunkakyouto/medical-interpreter/training/medical-interpreter-training>

f) 関連資料 (ビデオ、書籍、訓練用機器等) 収集。

(更なる充実のために、本プロジェクトの継続を申請する予定。)

g) 2011年1月～3月に4回医療通訳関連ワークショップの開催。28～35名の参加。